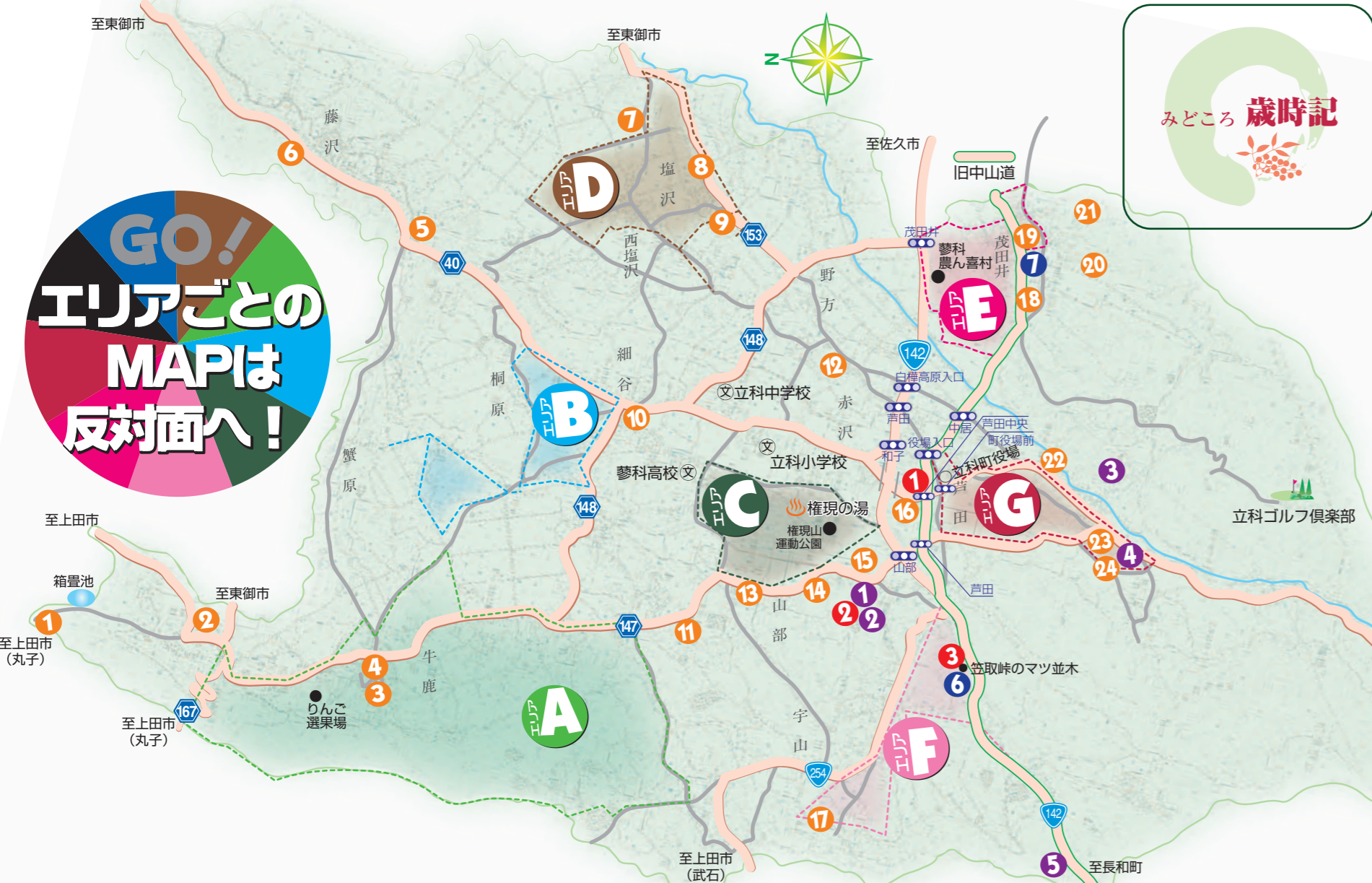


立科町

TATESHINA Town

文化財マップ

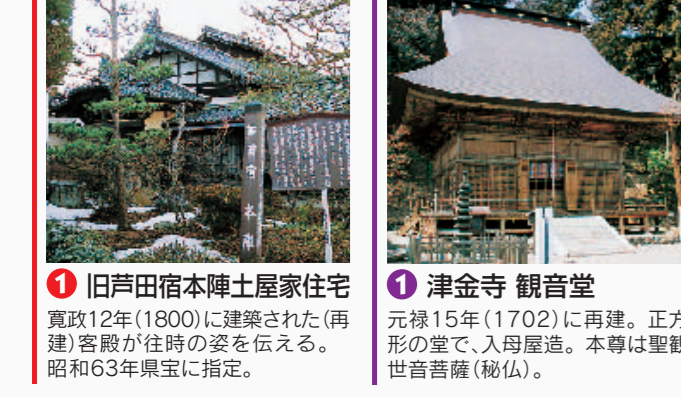


GO!
エリアごとの
MAPは
反対面へ!



- 一月** 無量寺では、元三大師(がんざんだいし)の祭日(18日)に護摩を焚いて無病息災が祈願されます。講員にはお札が配られ、折とうのお札は神棚に、元三大師修行姿のお札は戸口に貼ると魔除けになるといわれています。町内では15日頃を中心にどんど焼も行われています。
- 二月** 生活・文化等を見つめ直す機会として町民が集い、「いきいきネットたてしな」(第1週日曜日)が行われ、ふるさとや町づくりについて、提言や講演が行われます。
- 三月** 立科小学校・蓼科高校の子ども達は、感動と希望を胸に新しい世界へ旅立ちます。春分の頃、姉妹都市オレゴン市(アメリカ)へ中学生がホームステイ。貴重な経験と厚い交流により、強い絆で結ばれています。
- 四月** 光徳寺では、お釈迦様の降誕を祝して花祭り(8日頃)が行われ、子どもには「ちえ団子」が護符として配られます。津金寺では、昼観音縁日(花祭り)やカクタクノ野祭りが行われます。外倉駒形神社では、五穀豊穡・無病息災を祈願して、古くから伝わる三頭獅子が奉納されています。
- 五月** 初夏を感じる暖かい良い季節を迎えます。りんごの白い花が咲き、秋の豊作を願い、花摘み・摘果作業が始まります。中旬頃からは田植えが一斉に始まり、農繁期を迎えます。
- 六月** 蓼科牧場では、すずらん祭り(初旬)が行なわれ、夏山シーズンがスタート。八ヶヶ峰登山ではレンゲツツジが咲きみだれる様子と、360°の大パノラマには、感動で心が弾み、さわやかな山麓の風が満喫できます。
- 七月** 蓼科第二牧場へ放牧され、蓼科山・浅間山を眺めてちよつと一息。雨境峠祭記遺跡群(鳴石〜鉤引石)でいにしへの旅人に思いを寄せてはいかがでしょう。
- 八月** 津金寺では夜観音(1日)、町民まつり「立科えんご」(第1週土曜日)が行われます。女神湖の花火大会(11日)・お盆を過ぎると、初秋のさわやかな風が感じられる季節を迎えます。
- 九月** 収穫の秋本番。古町・桐原・藤沢の各地区で秋祭り(中旬頃)が行われ、三頭獅子が奉納されるなど、五穀豊穡を祝う伝統行事が行なわれます。津金寺では、萩まつり(上中旬)が行われます。
- 十月** 権現山運動公園から女神湖までの約20kmの道のり、歩け歩け大会(初旬)が行われます。良質のたてしな米でお弁当を作り、家族で秋の白樺高麗をゆっくりとウォーキングなどいかがでしょうか。
- 十一月** 蓼科山の頂に雪が積もり、スキー場がオープン。多くのスキーヤー・ボーダーで賑わいます。白く染まった白樺高原(白樺並木)を思いきり満喫してください。
- 十二月** 蓼科山の頂に雪が積もり、スキー場がオープン。多くのスキーヤー・ボーダーで賑わいます。白く染まった白樺高原(白樺並木)を思いきり満喫してください。

県指定文化財



町指定文化財



町文化財



- 2 津金寺 妙見堂**
天保7年(1836)に建立。立川流2代目四郎當昌と田中圓藏合作の彫刻が施されている。
- 3 笠取峠のマツ並木**
徳川幕府の植樹政策により慶長9年ごろに植樹。樹齢は推定150年~300年以上。昭和49年県宝に指定。
- 4 神代杉**
蓼科神社の御神木。樹齢1000年を超え、幹周約10m。県下の巨樹十樹に数えられる。
- 6 天狗松**
樹幹は兜状で形が良く、その姿の偉大さから人々は天狗を連想。樹齢は推定300年。
- 7 鳴石**
蓼科第二牧場脇、2つの石が鏡餅状に重なり合った大きな磐石(直径3m)。雨境峠祭記遺跡群。
- 8 与惣塚**
鎌倉から室町期に順次構築された遺跡で、雨境峠を通行した旅人が安全を祈願したとされる。雨境峠祭記遺跡群。
- 9 虎御前姿見の井**
相模国大磯の「虎尼」が善光寺からこの地へ来てここで死んだといわれ伝えられる。
- 10 駒形社**
4月には五穀豊穡を願い獅子舞を奉納。本来「駒の神」で牧場跡に祀られたとされる。
- 11 滝不動と天満社**
滝の湧出するこの地に神体を祀り、現在は天満社を合祀して安全を祈願している。
- 12 冠者社**
木曾義仲の嫡子の霊を家臣の今井氏が祀ったもの。現在では鎮守の神として9月に祭典を行なう。
- 13 諏訪神社(塩沢)**
天慶3年(940)に建立といわれる。旧塩沢村(現塩沢区)の村社であり諏訪大社の末社。
- 14 諏訪神社(宇山)**
神社入口の大鳥居の額「諏訪宮」は、文化元年(1804)寛政の改革松平定信の書。
- 15 山部学校(誠信学校)**
明治7年この地に開校。後に人権教育の先覚者となる保科五無も学び、教鞭を執った場所。
- 16 今泉**
明暦3年(1658)浅野御君御東下の供御用水となるなど、古くから由緒ある湧水。
- 17 諏訪神社(宇山)**
神社奥の祠は神社を祭った時のもの。旧宇山村(現宇山区)の村社であり諏訪大社の末社。
- 18 一里塚跡(茂田井)**
天保年間の茂田井村産出帳には信玄が兜をかかげしに腰掛け休んだ説がある。現在は3代目。
- 19 諏訪神社(茂田井)**
文化15年(1818)に再建。茂田井出身の立川流宮大工田中圓藏の作で、彫刻は見事である。
- 20 無量寺 六地藏**
六地藏は仏教でいう六道にちなんでおり、顔の表情がひとつずつ異なるものは貴重である。

歌碑・句碑



立科町教育委員会
立科町文化財保護委員会
【お問い合わせ】
☎0267-56-2311
※文化財の情報は立科町のホームページでもご覧いただけます。
<http://www.town.tateshina.nagano.jp/>

1 : 8,250
500 0 500 1,000 2,000m